

令和5年度 どんぐり保育園 事業報告

今年度は、4月の0歳児の入園は6名。単願で入園したが引っ越しや認可への転園もみられた。1歳児は13名スタート。子どもの病気や母の出産で退園される子もいたが、空きが出るとすぐに入園したいという希望者がいたため、都度入園の手続きを行っている。

2歳児は、12名スタートだったが、引っ越しにより入園希望者がいて、13名となった。どんぐり保育園も認知されるようになり、卒園した子の知り合いの子が入園したりと安心できる、選ばれる保育園になりつつある。

0歳～2歳児の保育は、これからの人生の中で最も重要な時期である。そのため、自分の気持ちを受けとめてもらい、愛着関係の形成等さまざまなことを保育の中で学び成長している。

個を大切にしながら互いに切磋琢磨しながら成長していく子ども達と接する職員もとても輝いてみえる。発達に遅れがある子の保育もさまざまな工夫が必要になり、その都度職員同士話し合いながらよりよいアイデアを出し合い、やってみては成功・失敗をくり返ししながら子どもも職員も成長している。

保護者との関わりもとても大切にしており、日頃からコミュニケーションを大切にしている。保護者の方と一緒に悩んだり、共感したりしながら一緒に学び合い、成長することを大切にしながら保育を行っている。

来年も安心して預けられる保育園であるように、子ども達や保護者の方との関係を大切にしつつ、安心して過ごせる環境を作っていけるように努めていきたい。

〈職員の質の向上〉

- ・キャリアアップ研修の機会を作る
- ・川崎市からの研修に参加する
- ・園長・主任・看護師・栄養士等の研修へ参加

〈自然と触れ合いを通して〉

自然・教育プロジェクトを実施した。園庭で、じゃがいも・さつまいも・夏野菜の栽培を行い、自然に触れる大切さを感じた。また、2歳児クラスは、子どもたちがバスで同法人「はじめの一步保育園」隣接地にある畑にて野菜の収穫体験をした。

〈楽しくリズム遊び〉

音楽・体操プログラムを実施した。毎月、子どもたちの好きな歌、音楽に合わせてリズム体操をした。いろいろな体操の中で好きな体操等は家で楽しむ姿も多くみられるようになり、音楽に触れ、体を動かす楽しさを味わうことができた。

〈働きやすく〉

離職率は少なく、今後も働きたいと思える職場である。それぞれが感謝の気持ちを持ちつつ、働きやすくするためには互いに協力している。持ち帰りの仕事を軽減するために事務時間を設けている。